

令和3年度英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 福島リサーチカンファレンス ワークショップ

開催日 令和3年11月8日(月) 10:00 ~ 17:00

会場 Web形式

主催 日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター

—————プログラムのご案内—————

- 10:00 ~ 10:10 開会挨拶
【公開】 阿部 陽一
(文部科学省研究開発局原子力課 放射性廃棄物企画室長)
山名 元
(プログラムディレクター)
- 10:10 ~ 10:20 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業について
【公開】 岡本 孝司
(日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター長)
- プレス退室【以降：非公開】
- 10:20 ~ 10:30 廃炉中長期実行プランについて
〔ニース側発表〕 石川 真澄(東京電力HD(株))(プログラムオフィサー)
- 10:30 ~ 10:55 非接触測定法を用いた燃料デブリ臨界解析技術の高度化
〔シース側発表〕 小原 徹(東京工業大学)
- 10:55 ~ 11:20 福島原子力発電所事故由来の難固定核種の新規ハイブリッド固化への挑
〔シース側発表〕 戦と合理的な処分概念の構築・安全評価
中瀬 正彦(東京工業大学)
- 11:20 ~ 11:45 建屋応答モニタリングと損傷イメージング技術を活用したハイブリッド
〔シース側発表〕 型の原子炉建屋長期健全性評価法の開発研究
前田 匡樹(東北大学)
- 11:45 ~ 12:45 昼休憩
- 12:45 ~ 13:10 シオポリマー等によるPCV下部の止水・補修及び安定化に関する研究
〔シース側発表〕 鈴木 俊一(東京大学)
- 13:10 ~ 13:35 福島第一原子力発電所の廃止措置における放射性エアロゾル制御及び除
〔シース側発表〕 染に関する研究
Erkan Nejdet(東京大学)
- 13:35 ~ 14:00 燃料デブリ取り出しのための機械式マニピュレータのナビゲーションお
〔シース側発表〕 よび制御
浅間 一(東京大学)

- 14:00 ~ 14:25 福島第一発電所 2,3 号機の事故進展シナリオに基づく FP・デブリ挙動
〔シーズ側発表〕 の不確かさ低減と炉内汚染状況・デブリ性状の把握
小林 能直 (東京工業大学)
- 14:25 ~ 14:50 世界初の同位体分析装置による少量燃料デブリの性状把握分析手法の確
〔シーズ側発表〕 立
坂本 哲夫 (工学院大学)
- 14:50 ~ 15:00 休憩
- 15:00 ~ 15:25 連携計測による線源探査ロボットシステムの開発研究
〔シーズ側発表〕 人見 啓太郎 (東北大学)
- 15:25 ~ 15:50 中赤外レーザー分光によるトリチウム水連続モニタリング手法の開発
〔シーズ側発表〕 安原 亮 (自然科学研究機構 核融合科学研究所)
- 15:50 ~ 16:15 アルファ微粒子の実測に向けた単一微粒子質量分析法の高度化
〔シーズ側発表〕 豊嶋 厚史 (大阪大学)
- 16:15 ~ 16:40 燃料デブリ周辺物質の分析結果に基づく模擬デブリの合成による実機デ
〔シーズ側発表〕 ブリ形成メカニズムの解明と事故進展解析結果の検証によるデブリ特性
データベースの高度化
宇埜 正美 (福井大学)
- 16:40 ~ 16:55 総合討論・まとめ
座長 岡本 孝司
(日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター長)
- 16:55 ~ 閉会挨拶
岡本 孝司
(日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター長)

※シーズ側の発表は 1 課題あたり
発表 10 分、議論 15 分の計 25 分